

安否確認システム（ANPIC）の登録について

北陸先端科学技術大学院大学では、地震や自然災害など大規模な災害が発生した際、安否確認を迅速かつ確実に実施するため、インターネットを活用する安否確認システム「ANPIC」を導入しています。

緊急時に自動で安否確認メールが配信されるほか、定期的に安否報告訓練を実施します。気象警報発表時にはJAIST Shuttle運休情報の配信等行いますので、各自で登録・初期設定をお願いします。

また、災害発生及び訓練実施の際は、必ず安否報告するよう心がけてください。

ANPICによる安否確認の流れ



石川県及び関東地区の震度5強以上の地震を気象庁が感知した際、事前に登録された皆さんの携帯電話やパソコンに自動で安否確認メールが送信されます。安否状況や現在地、コメントを入力し登録すれば、安否報告の完了です。

※安否確認を迅速に進めるため、海外にいて災害の影響がない場合なども回答をお願いします。

登録・初期設定方法

- 下記URLまたはQRコードにアクセスし、ログインID※を入力後「送信する」をクリックしてください。
※ログインIDはユーザ名@jaist.ac.jp（学生の場合：s + 学生番号 + @jaist.ac.jp）で「固定」です。
JAISTのメールアドレスを変更しても、ANPICのログインIDは変わりません。
パスワード設定URL：<https://jaist-anpic.jecc.jp/jaist/login/> JAIST ANPIC:
※パスワード再設定 
- メールアドレス1（JAISTのメールアドレス）宛にパスワード設定用の電子メールが届きますので、その電子メール内にあるURLにアクセスし、指示に従いパスワードを設定してください。
※JAISTのメールアドレスを変更した場合は、翌日AM5:00以降にパスワード再設定を行ってください。
- 大規模な災害ではJAISTのメールサービスが受信できない場合もあります。
安否確認メールの到達率を上げるため、【JAIST ANPIC】の「アカウント設定」画面からメールアドレス2とメールアドレス3に携帯電話のメールアドレスなど、**利用頻度の高いメールアドレスを必ず1つ以上登録してください**。また専用アプリやLINEでも通知・報告を行えるよう、以下URLをご覧の上、設定してください。
<https://www.jaist.ac.jp/anpic/data/user-guide2.pdf>
- ANPICからのメールが迷惑メールに振り分けられることを防ぐために、ANPICを運用するJECCのメールアドレス（no-reply@jecc.jp）を指定受信設定してください。
※各携帯会社の指定受信設定方法は、本学のANPIC HPからも確認できます。
- 「アカウント画面」でメールをテスト送信し、登録したメールアドレスに届くことを確認してください。

問い合わせ先:総務課危機管理担当 kikikanri@ml.jaist.ac.jp

ANPIC HP：<https://www.jaist.ac.jp/anpic/index.html>

JAIST ANPIC:
※ログインにはIDと
パスワードが必要です 

JAIST危機対応マニュアル<学生向け>

災害・テロ等の緊急事態が発生した場合、本学は皆さんの安否確認を最優先事項として行います。災害・テロ等の緊急事態に遭遇した、巻き込まれた教職員・学生は、状況に応じて下記の連絡先に連絡をしてください。また、本学から連絡を行いますので、着信拒否の設定は行わないでください。

【連絡先】	総務課危機管理担当	0761-51-1042	/kikikanri@ml.jaist.ac.jp
	施設管理課	0761-51-1123	/kikaku@ml.jaist.ac.jp
	学生支援課	0761-51-1932	/gakusei@ml.jaist.ac.jp
	代表※	0761-51-1111	/daihyo@ml.jaist.ac.jp
	※夜間・時間外は防災センター（0761-51-1000）にお掛けください。		
【災害時優先電話※】	総務課	0761-51-0091	
	会計課	0761-51-0092	
	施設管理課	0761-51-0093	
	防災センター	0761-51-0094	
	※災害等に通話が制限された場合であっても、優先的に取り扱われる電話です。		

○日常における防災の心得

- ・建物の基礎、柱、壁等の老朽化や変形、損傷、亀裂等の異常を定期的に点検しましょう。
- ・建物・設備に異常がある場合、ガラスの飛散防止、什器転倒防止措置等を希望する場合は、**施設管理課（内線：1123）又は会計課（内線：1104）**に連絡願います。
- ・落下物等から頭部を守るため、ヘルメットやそれに代わるものを用意しておきましょう。
- ・看板、照明器具、ガラス窓等を点検し、落下防止装置や飛散防止措置を実施しましょう。
- ・火気使用設備等の本体、燃料容器などは転倒しないか、周囲に転倒、落下するものがないか点検しましょう。
- ・ガスコンロ、湯沸器等の周囲には、燃えやすいものを置かないように徹底しましょう。また、退出時にガスコンロ等の火元を点検しましょう。
- ・火災が発生したときに慌てないよう、事前に消火器、消火栓の位置、使用方法等を確認しておきましょう。
- ・扉等が変形し、出入口が閉鎖される場合を考慮し、2以上の避難ルートを確認しておきましょう。
- ・研究室、事務室、会議室等に置かれている什器類には、転倒防止やずれ防止の措置をしましょう。
- ・書架、本棚等の上部には、重いものを置かないようにしましょう。
- ・廊下、階段、出入口付近に箱、ロッカー等の物品を置いておくと避難の障害になりますので、日頃から置かないように徹底しましょう。
- ・非常時の持ち出し品については、事前に確認しておきましょう。
- ・道路や公共交通機関が閉鎖される場合を考慮し、通勤・通学経路を徒歩で確認、複数の経路を準備するなど、自宅までの帰宅方法を確認しておきましょう。
- ・非常時の安否確認のため、緊急連絡一覧表を把握しておきましょう。また、本学が導入している安否確認システム「ANPIC」への登録・初期設定を行っておきましょう。

地震

震度 6 以上の大地震が発生し、対策本部が設置された場合は、その指示に従うこと

地震発生

地震発生直後の注意：

- ・慌てて外に出ず、まずは自分自身の身の安全を確保すること
- ・実験等で火気を使用している場合は、速やかに消すこと
- ・ガスの元栓は閉めること
- ・物品の落下や転倒に注意すること

揺れが収まったら

自分が負傷した場合：

- ・身動きが取れない場合は、大声をあげて助けを呼び、自分の生存を知らせること。声が出せない場合は、周囲の人に気づいてもらえるよう大きな音を出すこと
- ・携帯電話等で外部と連絡するように努めること
- ・安否確認システム（ANPIC）にて安否報告（安否状況、現在地など）を行うこと

学内で火災等や負傷者を発見した場合：

- ・防災センター（内線：1000）及び周囲の教職員に連絡し、119番通報すること。負傷者を発見した場合は、併せて保健管理センター（内線：1036）に連絡すること
- ・自分の身が安全な範囲で初期消火、応急手当を行うこと

避難

避難するかどうかを判断する：

- ・周囲の状況を確認し、安全と確認できた場合は、ひとまず非常放送等による指示を待つこと
- ・すぐに避難しないことを決めた場合は、余震に備え、避難経路確保のために窓や扉を開けておくこと
- ・安全が確認できない場合は、落ち着いて避難すること

避難時の注意：

- ・どのルートで避難すれば安全か確認し、落ち着いて行動すること
- ・火災が起きている場合は、タオルやハンカチで口と鼻を覆うこと
- ・階段を使用し、エレベーターは使用しないこと

※大学内・大学周辺の避難所は4ページ参照

安否報告

安全が確保できたら：

- ・安否確認システム（ANPIC）にて、各自大学への安否報告を行うこと。一度目の報告から状況が変わった場合には、随時内容を更新すること
- ・NTTの災害用伝言ダイヤル、携帯電話による情報登録検索、インターネットによる情報登録検索などを活用し、家族との安否連絡を行うこと

その他の危機管理対応

1. 火災が発生したら

- ・まずは自分自身の身の安全を確保すること
- ・大声で周囲に知らせ、防災センター（内線：1000）に通報すること
- ・消火器等による初期消火が可能な場合は行うこと。不可能な場合は、速やかに119番通報すること
- ・119番通報後は、必要に応じて現場から退避すること

2. 不審者を発見したら

- ・まずは自分自身の身の安全を確保すること
- ・不審者の性別、顔、年齢、服装、人数、所持品等の特徴を把握し、速やかに総務課危機管理担当（内線：1042）または防災センター（内線：1000）に通報すること
- ・必要に応じて110番通報すること

3. 国外でテロ、大災害等に巻き込まれたら

- ・まずは自分自身の身の安全を確保すること
- ・学生支援課（gakusei@ml.jaist.ac.jp）及び指導教員等に、安否状況を連絡すること

4. 大学周辺でクマを目撃したら

- ・クマを刺激しないように、速やかに遠ざかること
- ・クマを目撃した場合は、110番または能美市農林課（0761-58-2256）に通報すること
- ・クマに襲われた場合は、クマがその場からいなくなるまで、うつ伏せになって顔とお腹を守り、首の後ろは手を回して保護し、致命傷をさけること。必要に応じて119番通報すること

5. その他

想定される事例：

- ・本学周辺で犯罪、大規模な交通事故等が発生
- ・本学周辺で土砂崩れ、道路の遮断等が発生
- ・設備（エレベータ・実験機器等）等の破損、緊急停止
- ・建物の漏水、破損等
- ・実験時における事故

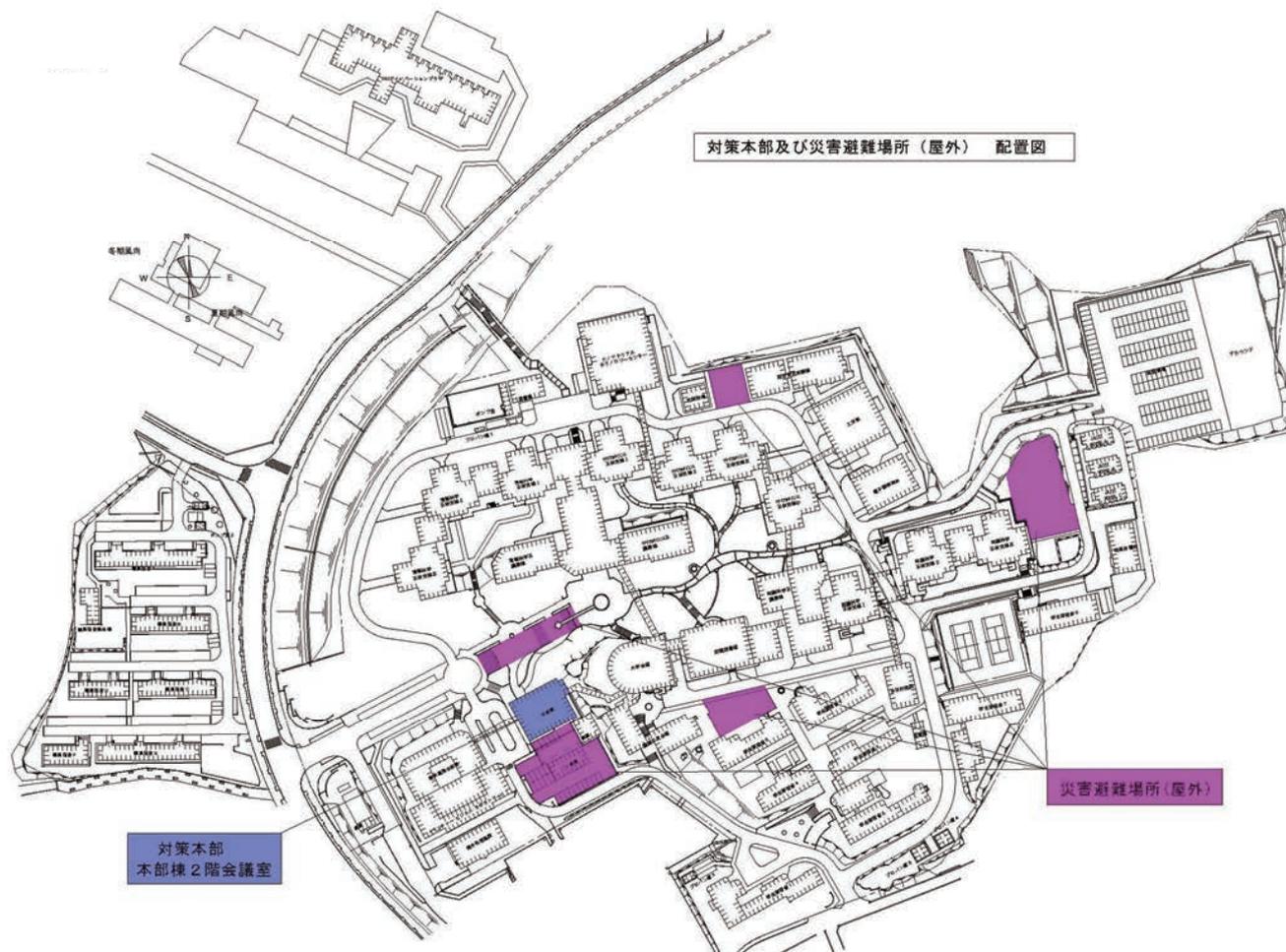
対応：

- ・総務課危機管理担当（内線：1042）または学生支援課（1932）に通報すること。
時間外・夜間の場合は、防災センター（0761-51-1000）に通報すること
- ・必要に応じて110番通報、119番通報すること

※実験機器の破損、各種ガス・薬品・エックス線等の使用に伴う事故に対する専門的な措置については「安全手帳」に記載されているので、関連するページを熟読すること

参 考

対策本部及び災害避難場所（屋外）



警察署及び消防署への通報のポイント

警察署

- ・石川県警察本部（110番）
- ・能美警察署
（0761-57-0110）
- ・宮竹駐在所
（0761-51-2337）

通報のポイント

- 1 何があったのか。事件か事故か。
- 2 いつ、どこで、あったか。
- 3 事件の犯人は、相手はどうしたか（そばにいる、逃げてしまった等）
- 4 あなたの住所、名前、連絡先など

消防署

- ・消防本部（119番）
- ・能美市消防本部辰口分署
（0761-51-6119）

通報のポイント

- 1 「火災」か「救急」か、はっきりと区別して伝える。
- 2 災害現場を正確に「〇〇町〇〇丁目〇〇番地」などと伝える。
- 3 建物の名称（分からない時は、近くの目標物等）を伝える。
- 4 「救急」の場合は「誰が、何を、どうしたのか、どのような症状か」などを具体的に伝える。
- 5 あなたが今かけている「電話番号」を伝える。
※現場近くに、一般電話又は公衆電話がある場合は、それらの電話を優先して使用すること。